



平成30年度第1回（震災後第87回） 陸前高田市未来図会議



平成30年5月31日（木）13:30～15:30
夢アリーナたかた ミーティングルーム

一 次 第 一

◆本日のテーマ

他分野が仕掛ける“はまかだ”

- 1 開 会
- 2 挨 拶 陸前高田市 民生部保健課包括支援係 副主幹 佐藤 咲恵
- 3 内 容

(1) 「未来図会議について」 (5分)

陸前高田市 民生部保健課保健係 保健師 佐藤 沙希

(2) 「グッジョブケセンについて」 (20分)

一般社団法人 陸前高田青年会議所 地域の未来創造委員会 委員長 加藤 隆史 氏

(3) 「夢アリーナたかたの施設概要と理念」 (10分)

陸前高田市 生涯学習課スポーツ推進係 副主幹 岡淵 貴悦 氏

(4) 「観光からみた“はまかだ”」 (20分)

一般社団法人マルゴト陸前高田 代表理事 伊藤 雅人 氏

(5) 参加者の皆さまと“はまっぺけらいん、かだっぺけらいん” (40分)
テーマ：「参加者それぞれのはまかだ」

(6) 「“はまっぺ、かだっぺ” に始まる

ノーマライゼーションという言葉のいないまちづくり」 (15分)

陸前高田市ノーマライゼーション大使 岩室 紳也 氏

4 その他

5 閉 会・アンケート記入

【次回】

平成30年10月19日（金） 13:30～15:30 陸前高田市コミュニティーホール 大会議室
テーマ：「結果はまかだ から 仕掛けはまかだ へ（仮）」

はまかだとは



- ・ **はまってけらいん** (仲間に入って)、
かだってけらいん (話しましょう) の略称。
- ・ 立ち話やご近所でのお茶っこのみ、趣味仲間での集まりなど、いつでも・どこでも・なんでも“はまかだ”。
- ・ 話を聞いてもらったり、時間を共有することでお互いの心が癒され、安心感が生まれる。



未来図会議とは



住民の生活にかかわる関係者が集まり、住民一人ひとりの**健康で文化的な生活**及び**ノーマラーセッションという言葉の知らないまちづくり**の実現を目指し、震災からの復興に向けた地域にとって望ましい体制づくりに寄与し続けられるよう、**健康や幸せを感じられるまちづくり**に関する中長期的な展望を議論する。

これまでは

「陸前高田市**保健医療福祉**未来図会議」

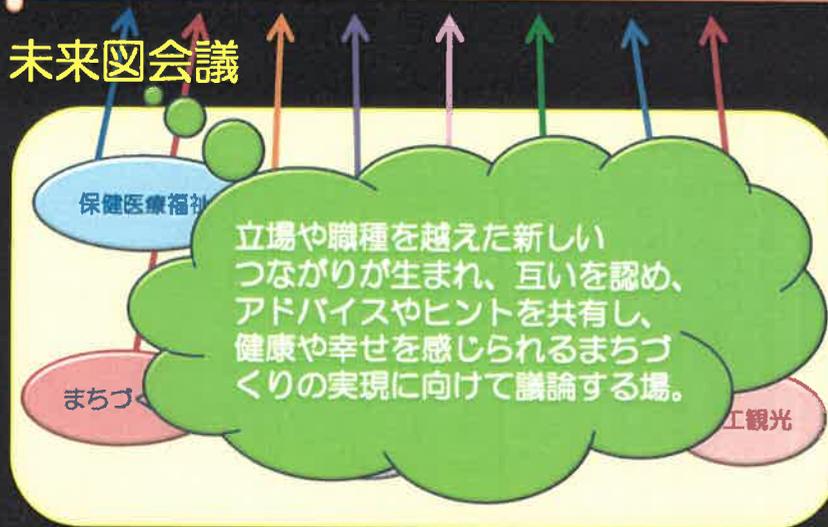


これからは

「陸前高田市**未来図会議**」

健康や幸せを感じられるまちづくり

未来図会議



“はまって、かだって”に始まる
ノーマライゼーションという言葉の
いらぬまちづくり

ヘルスプロモーション推進センター
(オフィスいわむろ)
陸前高田市ノーマライゼーション大使

岩室紳也

はまかだ^で

健康づくりも

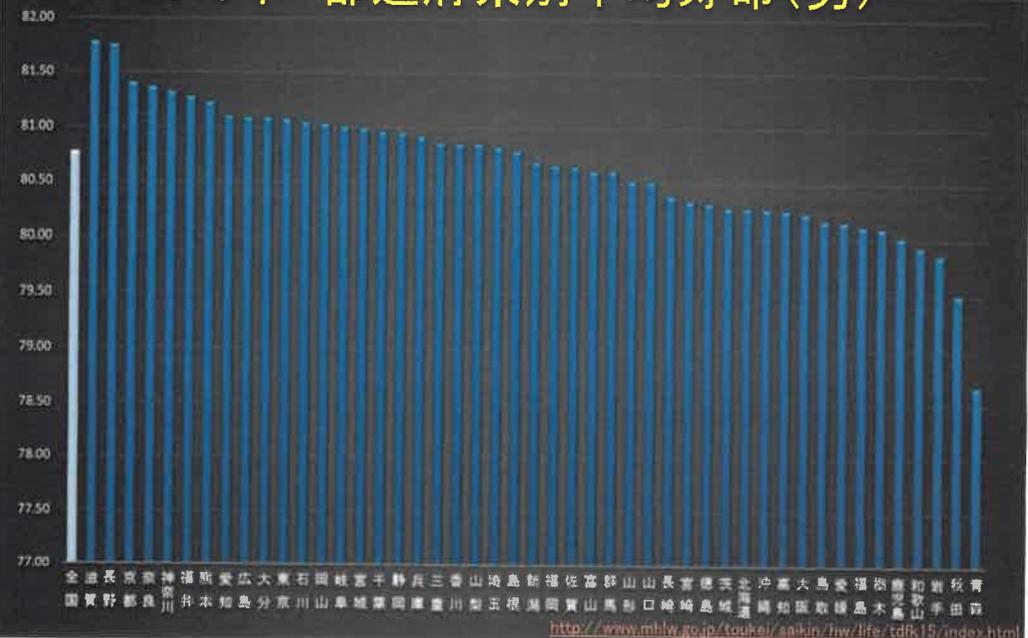
まちづくりも

ノーマライゼーションも

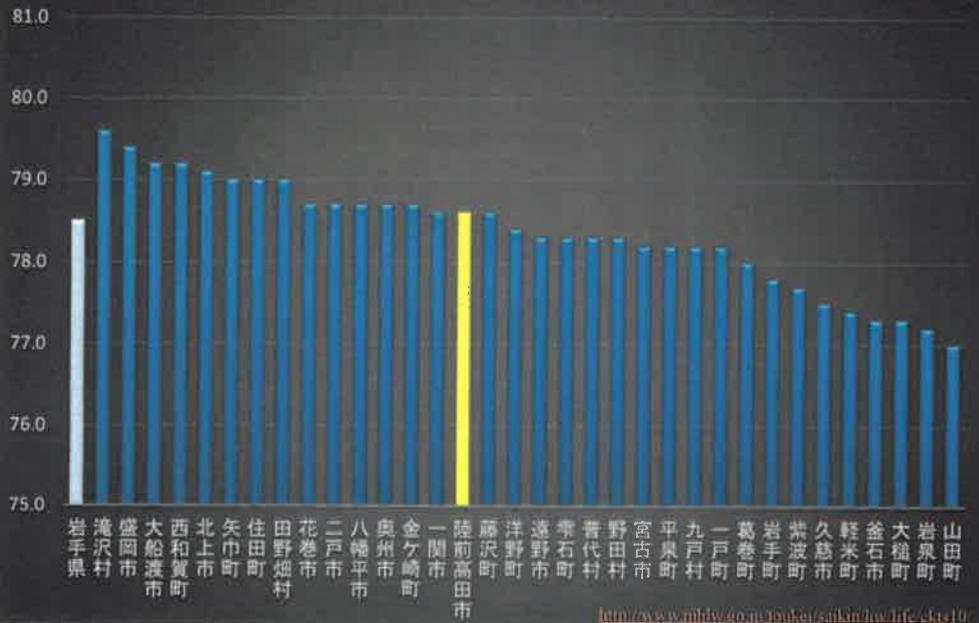
犯罪予防も

はまかだ^で
健康づくりの実績が

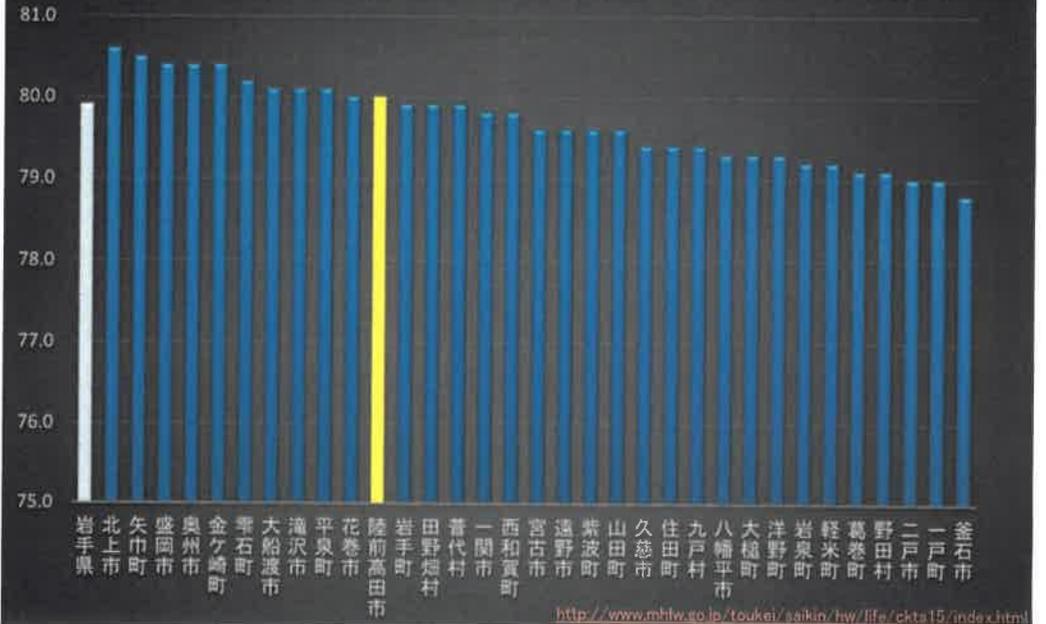
2015年 都道府県別平均寿命(男)



2010年 岩手県内市町村別平均寿命(男)



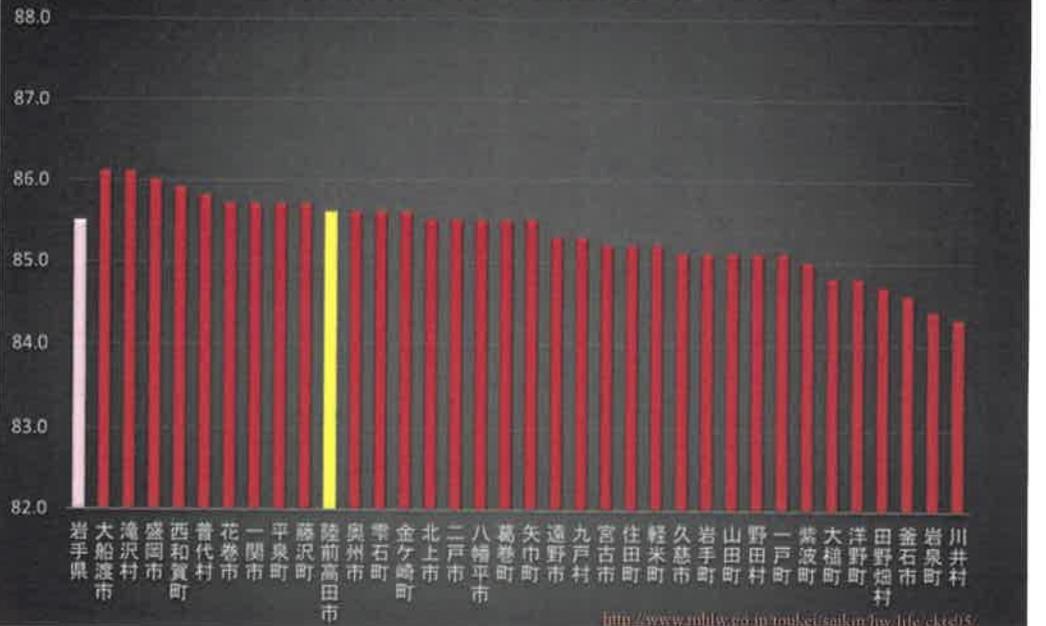
2015年 岩手県内市町村別平均寿命(男)



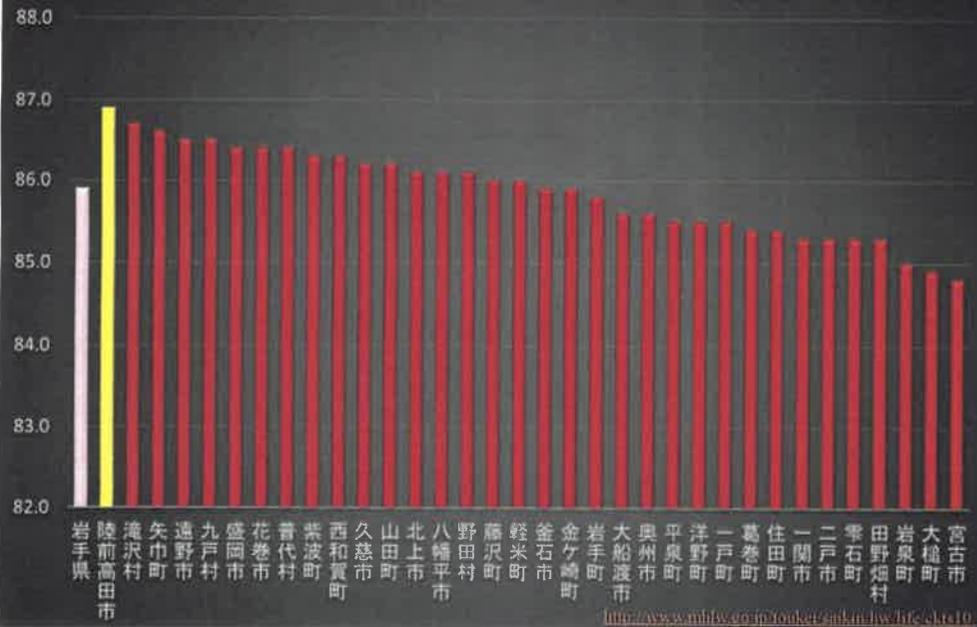
2000年 岩手県内市町村別平均寿命(女)



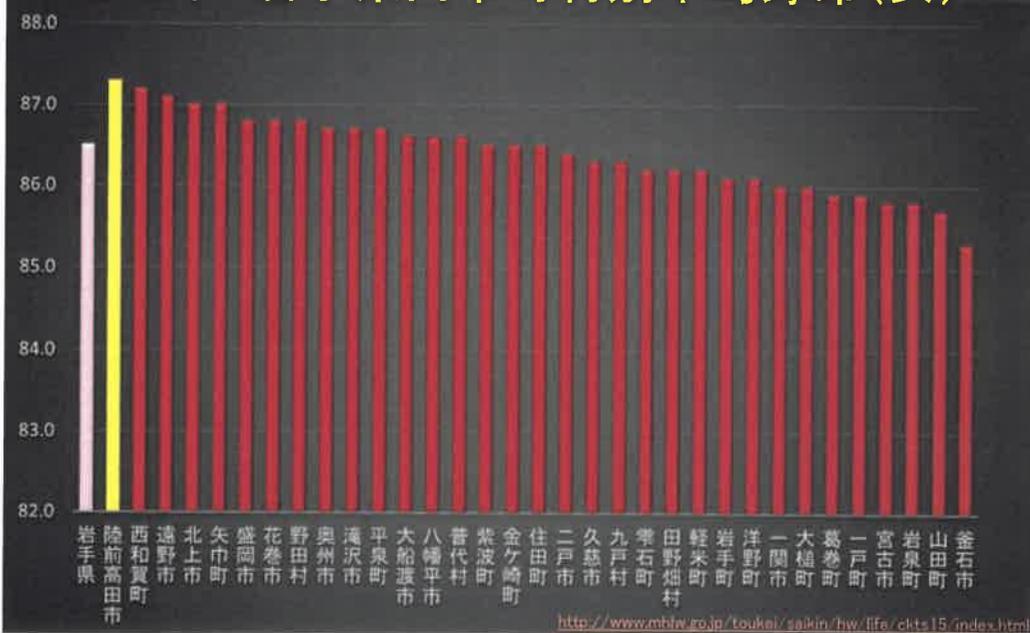
2005年 岩手県内市町村別平均寿命(女)



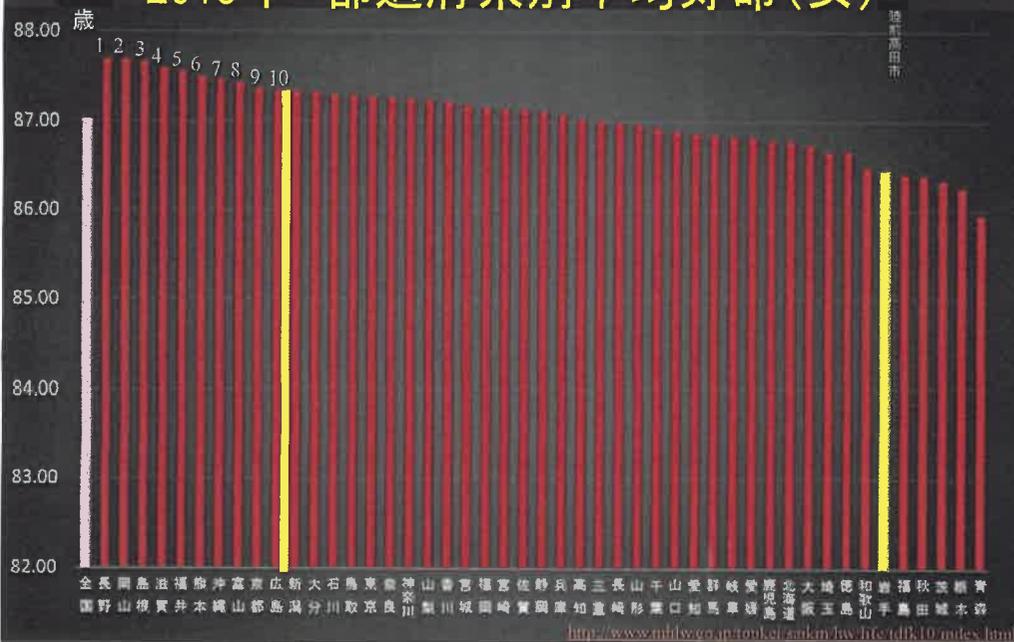
2010年 岩手県内市町村別平均寿命(女)



2015年 岩手県内市町村別平均寿命(女)



2015年 都道府県別平均寿命(女)



国もはまかだを推奨

健康日本21(第2次)概念図

健康寿命の延伸・健康格差の縮小

生活の質の向上

社会環境の質の向上

①地域のつながりの強化

〈ソーシャルキャピタルの向上〉

①地域のつながりの強化

〈多様な活動主体による自発的取組の推進〉

②健康づくりに主体的に関わる国民の割合の増加

③健康づくりの活動に主体的に取り組む企業数の増加

④健康づくりに関して身近で専門的な支援・相談が受けられる
民間団体の活動拠点数の増加

〈健康格差の縮小〉

⑤健康格差の実態を把握し、対策に取り組む自治体の増加

「つながり（はまる）」

たとえば

「絆」？

絆

はどう読みますか

絆(きずな)

(つながり むすびつき)

絆(ほだし)

(手かせ 足かせ 束縛 迷惑)

ソーシャル・キャピタル(絆(きずな+ほだし)がある居場所)の三要素

お互い様の
ネットワーク
だから生まれる

信頼

ネットワーク

(つながり)

規範(互酬性)

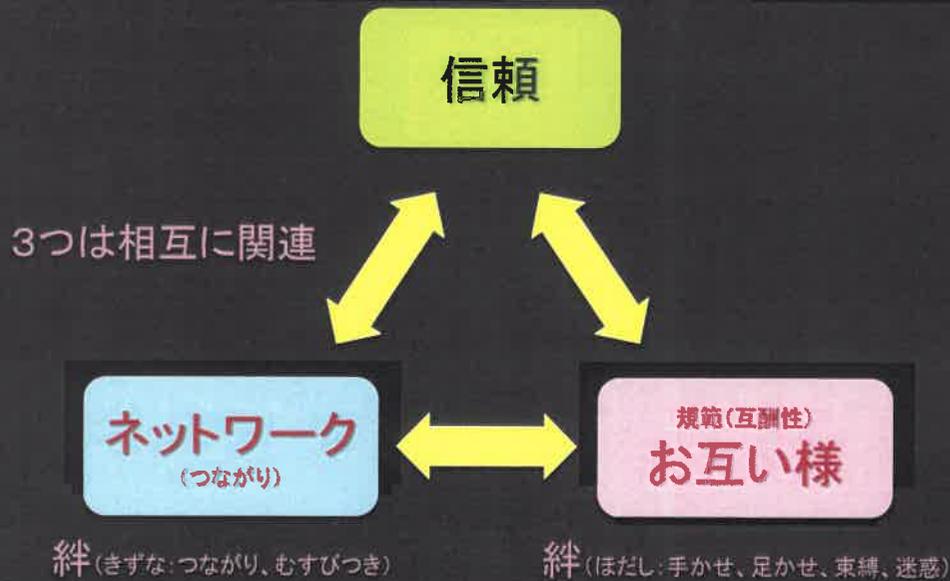
お互い様

つながっているから

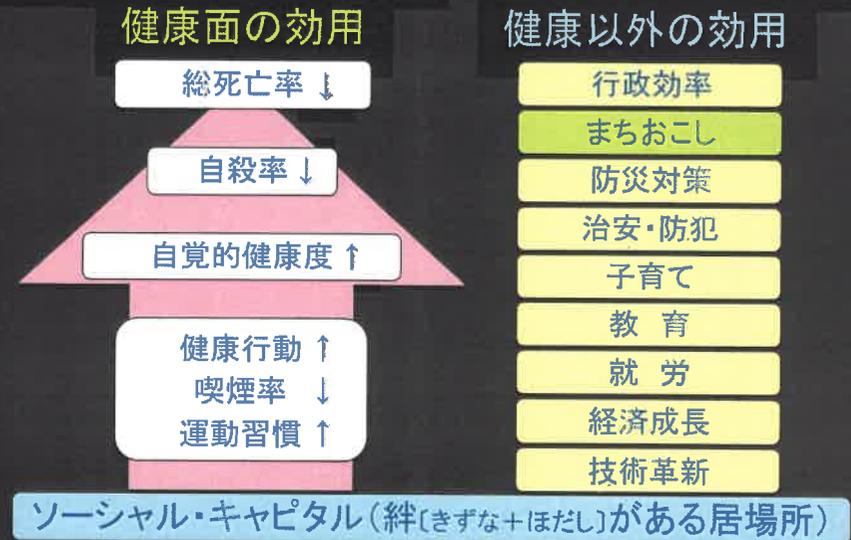
絆(きずな: つながり、むすびつき)

絆(ほだし: 手かせ、足かせ、束縛、迷惑)

ソーシャル・キャピタル(絆きずな+ほだし)がある居場所の三要素



ソーシャル・キャピタル(絆きずな+ほだし)がある居場所の効用



平成26年度厚生労働科学研究(健康安全・危機管理対策総合研究事業)
「地域保健対策におけるソーシャルキャピタルの活用のあるり方に関する研究」
http://www.ishn.go.jp/shinryo/2014_01.html

はまかだで
ノーマライゼーション

ノーマライゼーションという言葉のいらないまちづくり アクションプラン



「ノーマライゼーションという言葉のいないまち」とは

一人ひとりが、
自分自身の、そして相手の、
障がい、年齢、セクシュアリティ、
病気、国籍、犯罪歴といった個性を
意識することのない、
誰もが暮らしやすい、住みやすいまち

「ノーマライゼーションという言葉が必要なまち」とは

一人ひとりが、
自分自身の、そして相手の、
障がい、年齢、セクシュアリティ、
病気、国籍、犯罪歴といった個性を
意識しながら、意識させられながら
暮らさざるを得ない、ストレスの多いまち

コミュニケーション行為

自己中心的な成果を志向する戦略的行為とは異なり、
「ノーマライゼーションという言葉のいないまち」が大事
相互に了解を志向しながら強制なき合意形成を目指す

言語行為を指す。



(ユルゲン・ハーバーマス)

未来図会議

はまかだで
ノーマライゼーション
と
犯罪予防？

ソーシャル・キャピタル (絆きずな+ほだし)がある居場所)の効用

健康面の効用

総死亡率 ↓

自殺率 ↓

自覚的健康度 ↑

健康行動 ↑

喫煙率 ↓

運動習慣 ↑

健康以外の効用

行政効率

まちおこし

防災対策

治安・防犯

子育て

教育

就 労

経済成長

技術革新

ソーシャル・キャピタル (絆きずな+ほだし)がある居場所)

平成26年度厚生労働科学研究(健康安全・危機管理対策総合研究事業)
「地域保健対策におけるソーシャルキャピタルの活用あり方に関する研究」
http://www.mhlw.go.jp/stf/shingi2/shingi2_001.html

熊谷晋一郎先生に学ぶ

障害者殺傷事件 2か月

障害者・家族の思い
"分け隔てない社会を"



<https://www.facebook.com/iwamuro/videos/1446686258661920/?permPage=1>

なぜ岩室紳也は **この事件**
に学べるか？



こんな声も

現場に立ち入り、私が思ったのは、犯人は障害者に自分を投影している、という事でした。

これ自体私の妄想かもしれませんが、そう考えれば納得できる現場でした。

大切にされている実感を持たずに生き、自分より弱い者を大切にする感覚がわからず、生産性のない存在は必要ない、と自分が他者から受けてきた扱いから確信するようになったのではないか。

東京新聞

こちら特報部

2016年7月30日

相模原殺傷 植松容疑者の「正気」と闘うために

「社会の敵排除」の確信犯



「障害の持つ」異音を教授に聞く



広がる「生産能力ない人は無価値」

でも、社会は個人の問題に

THE YOMIURI SHIMBUN
読賣新聞
 2017年(平成29年)
 2月21日 火曜日

相模原殺傷 容疑者「自己愛性障害」 鑑定留置終了、起訴へ

相模原市立特別支援学校で発生した殺傷事件の容疑者、20歳の男子高校生（仮称A）が、自己愛性障害と診断された。鑑定留置が終了し、起訴される見込みだ。事件発生後、Aは精神科病院に入院し、治療を受けていた。鑑定留置期間中に、Aは自己愛性障害と診断された。自己愛性障害は、自己を過度に大切にし、他人を軽蔑する傾向がある。Aは、この障害によって、周囲の人々を傷つける行為を繰り返していたと見られる。事件発生後、Aは精神科病院に入院し、治療を受けていた。鑑定留置期間中に、Aは自己愛性障害と診断された。自己愛性障害は、自己を過度に大切にし、他人を軽蔑する傾向がある。Aは、この障害によって、周囲の人々を傷つける行為を繰り返していたと見られる。

読賣新聞

2017年(平成29年)
 2月25日 土曜日

みつめる
 相模原殺傷事件
 相模原 信一 氏
 講師 信一 氏

感じたこと口にする機会を

「感じたこと口にする機会を」という言葉は、教育現場でよく使われる。しかし、この言葉の意味は、単に口にするだけでなく、感じたことをしっかりと表現し、それを共有することにある。教育現場では、子どもたちが自分の気持ちを自由に表現し、それを共有することが、その成長にとって非常に重要な役割を果たしている。しかし、現実には、子どもたちが自分の気持ちを表現し、それを共有することが、なかなか難しい。これは、教育現場の環境や、教師の態度などが、子どもたちの表現の自由を制限しているからである。したがって、教育現場では、子どもたちが自分の気持ちを自由に表現し、それを共有することが、その成長にとって非常に重要な役割を果たしている。しかし、現実には、子どもたちが自分の気持ちを表現し、それを共有することが、なかなか難しい。これは、教育現場の環境や、教師の態度などが、子どもたちの表現の自由を制限しているからである。

私たち大人は、障害のある人を「手助けしなければいけない存在」、自分「手助けする存在」と思い込んでいる。私と「彼ら」は根本的に違う存在という捉え方は、事件を起こした容疑者と同じだ。

自立は、依存先を増やすこと

希望は、絶望を分かち合うこと

熊谷晋一郎



https://www.tokyo-linken.or.jp/publication/hl_56_interview.htm

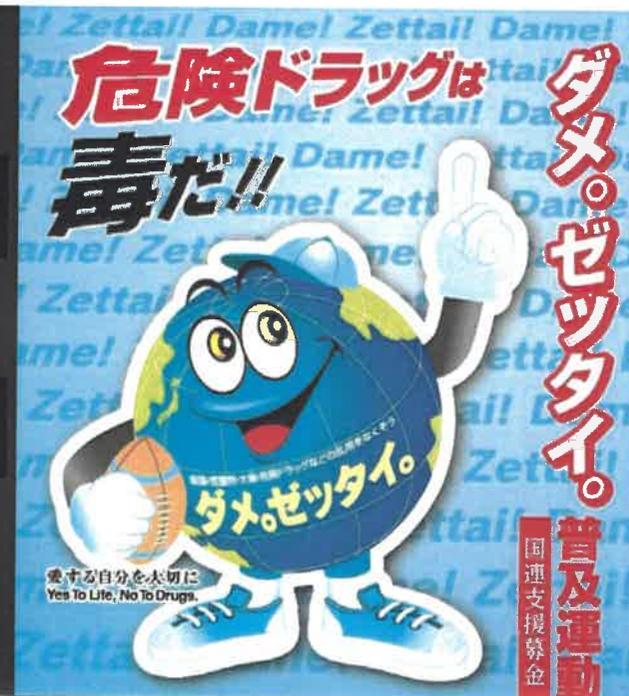
間違いだらけの薬物対策

ダメ絶対運動

ダメ。ゼッタイ。

は

ダメ？ 絶対？



「つながり」「絆(きずな+ほだし)」「居場所」の反対は？

Addiction

(岩室版はこちらから)
(vttファイルと一緒に置くとPowerPoint2016で動作確認済)

https://www.youtube.com/watch?time_continue=7&v=ao8L_-0nSYzg



依存先を増やすソーシャル・キャピタル(絆[きずな+ほだし])づくりを

